

かみなりまつ
神成松遺跡第8地点

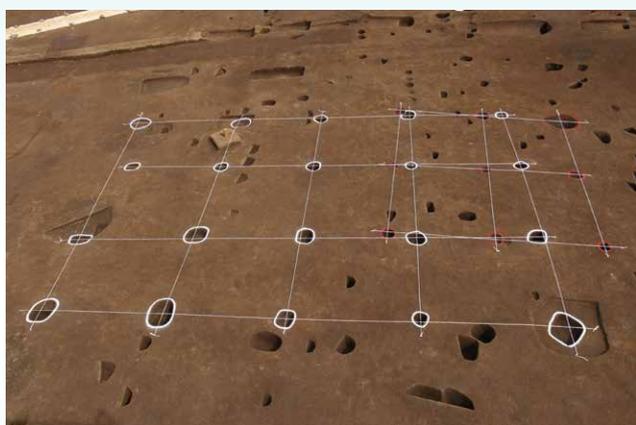
伊勢原市 No.74・156 遺跡



1. 神成松遺跡第8地点10区 全景写真



2. C1 溝状遺構



3. C2・3掘立柱建物



4. C1溝 遺物出土状況

●主な調査成果

今年度から新しく10区の調査を開始し、主に中世の遺構や遺物が確認されています。特に、前年度以前に調査した溝状遺構については、その続きが発見されました。過去の調査成果と合わせると1辺が約75mを測る、居館を方形に囲う溝の一部だと考えられます。この溝状遺構の内側には掘立柱建物が重複して存在しており、建て替えられた様子が窺えます。

居館の年代の決め手となる遺物は多くはありませんが、溝状遺構の覆土中から12～13世紀の青磁片やかかわらけ等がまとまって出土しています。

遺構の規模や遺物からみて、この居館は13世紀代(鎌倉時代)の御家人クラスの館であるとの見解が得られています。

- 調査期間 2018年8月1日～調査中
- 事業者 国土交通省関東地方整備局
- 調査原因 般国道246号(厚木秦野道路)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳から弥生、縄文、旧石器
- 所在地 伊勢原市上粕屋
- 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西約3kmの上粕屋扇状地上

